











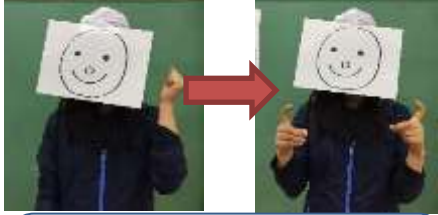
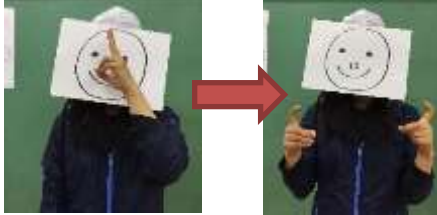
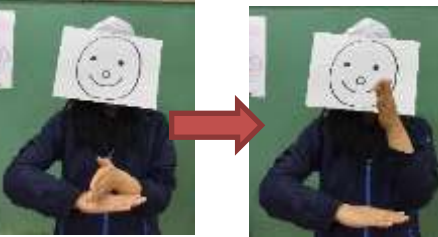
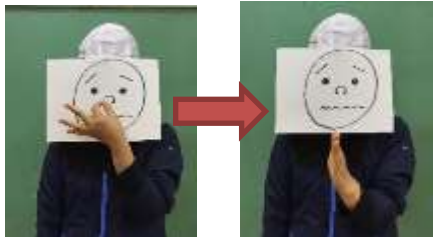
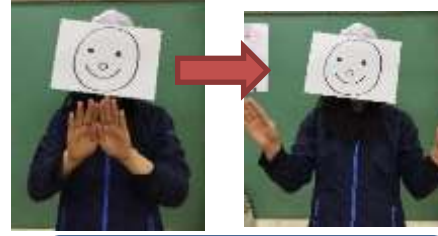
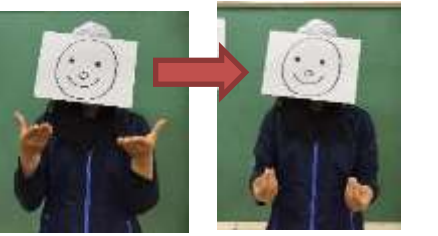
ステップ1

大項目	④コミュニケーション手段の選択と活用
小項目	【3】手話によるコミュニケーション
タイトル	手話（気持ち編）
目的 身につけてほしい力	・相手に自分の気持ちを伝える。
教材の概要 材料 作り方 工夫点など 画像	<p>* 小学部で使いやすいようにアレンジしています。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div style="text-align: center;">  <p>「分かりました」 手の平で胸をなでるように、下へおろす</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>「ドキドキする」 両手を重ねて胸元にあて、右手を前後させる</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>「悲しい」 両手を目元に添えて泣く様子を表す</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: center; align-items: center; margin: 10px 0;">  →  </div> <div style="text-align: center; margin-bottom: 10px;"> <p>「嬉しい」 両手の平を胸の前で上下に交差させる</p> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div style="text-align: center;">  <p>「分かりません」 手の平で肩のホコリを払うように前後させる</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>「怒る」 両手の人差し指を頭に添えて、鬼のイメージ</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>「やめて」 左手の平を上に向けて右手の平を縦向きに添える</p> </div> </div>
教材の使用方法	<ul style="list-style-type: none"> ・手話だけでなく表情や音声、口形をつけると、より分かりやすい。 ・手話をする時は、黒い服など、手が映える色の方が見やすい。
その他	* 形にとらわれず、伝えやすい方法、意思疎通がしやすい方法、自発的に伝えようとする方法を見つけることが大切です。

ステップ2

大項目	④コミュニケーション手段の選択と活用
小項目	【3】手話によるコミュニケーション
タイトル	手話（学校編）
目的 身につけてほしい力	・授業名が分かる。授業名を伝える。
教材の概要	・小学部で使いやすいように、アレンジしています。
材料 作り方 工夫点など	
画像	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; text-align: center;"> <p>「国語」</p> <p>親指と人差し指の間を 交互にクロスさせる</p> </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; text-align: center;"> <p>「算数」</p> <p>両手で指数字3を作り 胸の前でぶつける</p> </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; text-align: center;"> <p>「理科」</p> <p>試験管から試験管へ 移し替えるイメージ</p> </div> </div>
	
	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; text-align: center;"> <p>「社会」</p> <p>親指と小指を立て 胸の前で円を描く</p> </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; text-align: center;"> <p>「音楽」</p> <p>人差し指と中指を立て 指揮棒を振るイメージ</p> </div> </div>
	
	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; text-align: center;"> <p>「体育」</p> <p>両手でグーを作り 身体の前で開閉する</p> </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; text-align: center;"> <p>「図工」</p> <p>左手の平の上に右手の 平で絵を描くイメージ</p> </div> </div>
教材の使用方法	<ul style="list-style-type: none"> ・手話だけでなく表情や音声、口形をつけると、より分かりやすい。 ・手話をする時は、黒い服など、手が映える色の方が見やすい。
その他	<p>* 形にとらわれず、伝えやすい方法、意思疎通がしやすい方法、自発的に伝えようとする方法を見つけることが大切です。</p>

ステップ3

大項目	④コミュニケーション手段の選択と活用
小項目	【3】手話によるコミュニケーション
タイトル	手話（挨拶編）
目的 身につけてほしい力	<ul style="list-style-type: none"> ・相手に自分の気持ちを伝えたり、挨拶をしたりする。
教材の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・小学部で使いやすいように、アレンジしています。
材料	
作り方	
工夫点など	<p style="text-align: center;">「おはよう」 右手でグーを作り耳にあて、人差し指を向かい合わせて軽く曲げる</p>
画像	<p style="text-align: center;">「こんにちは」 人差し指と中指を立てて時計の正午を表し、人差し指を向かい合わせて軽く曲げる</p>
	
	<p style="text-align: center;">「ありがとう」 甲を上にした左手を右手で軽くたたいた後、顔の前まで上げる</p>
	
	<p style="text-align: center;">「ごめんなさい」 顔の前で親指と人差し指で円を作り、円を開きながら手を前に押し出す</p>
	
	<p style="text-align: center;">「始めます」 両手の平で窓を開けるイメージ</p>
	
	<p style="text-align: center;">「終わります」 両手をすぼめながら下に下げる</p>
教材の使用方法	<ul style="list-style-type: none"> ・手話だけでなく表情や音声、口形をつけると、より分かりやすい。 ・手話をする時は、黒い服など、手が映える色の方が見やすい。
その他	<p>* 形にとらわれず、伝えやすい方法、意思疎通がしやすい方法、自発的に伝えようとする方法を見つけることが大切です。</p>